

## オプトアウト用公開文書

アンケート対象者 様

今回、以下の目的及び方法にて参加をお願いする医学系研究「歯学部学生のエイジズムに対する高齢者歯科臨床実習の効果の検証」を行います。

① 「歯学部学生のエイジズムに対する高齢者歯科臨床実習の効果の検証」は当該研究実施について学長の許可を受けています。

### ② 「研究責任者」

研究代表者

九州歯科大学・歯学部・多職種連携推進ユニット・教授・秋房 住郎

研究分担者

九州歯科大学・歯学部・多職種連携推進ユニット・教授・藤井 航

九州歯科大学・歯学部・歯科衛生士育成ユニット・講師・泉 繭依

九州大学・歯学研究院・口腔顎顔面病態学講座・高齢者歯科学・全身管理歯科学分野・教授・柏崎 晴彦

九州大学・歯学研究院・歯学研究院附属 OBT 研究センター・准教授・水谷 慎介

福岡歯科大学・歯学部・口腔保健学講座口腔健康科学分野・講師・藤本 暁江

### ② 「研究の目的」

エイジズム（年齢差別）は、年齢に基づいたステレオタイプや、偏見、差別のことで、E. B. Palmore はエイジズムを「ある年齢集団に対する否定的もしくは肯定的偏見または差別である」と定義しており、レイシズム（人種差別）とセクシズム（性差別）につづく、三番目の差別であると主張しています<sup>1)</sup>。医療従事者におけるエイジズムは提供する医療の質に影響を与えることが知られており<sup>2,3)</sup>、その解消は教育課題の一つです。2018年に歯学学習者のエイジズムを測定するための尺度としてASDS（Ageism Scale for Dental Students）が開発され<sup>4)</sup>、その後、ドイツ語版<sup>5)</sup>、ポルトガル語版<sup>6)</sup>、フランス語版<sup>7)</sup>などが次々と開発され、エイジズムを測定する有効な教育ツールとして広く世界で用いられています。今般、我々は日本語版ASDS（ASDS-J）を開発し、妥当性、信頼性を検証したところです。

本研究では、歯学学習者におけるエイジズムに対する高齢者歯科臨床実習・研修の効果を検証するため、当該臨床実習・研修の受講前後におけるエイジズムの変化をASDS-Jを用いて検証することを目的とします。

### 引用文献

1) J Gerontol. 28(3):363-9, 1973

2) J Nurse Manag.23(5):644-650, 2015

<p>3) Gerontologist. 56(4):610-614, 2016  4) Spec Care Dentist 38(1):31-35, 2018  5) Gerodontology. 36(3):251-257, 2019  6) Gerodontology. 37(1):87-92, 2020.  7) Gerodontology. 39(3):291-296, 2022  8) Eur J Dent Educ. 28(1):20-27, 2024</p>
<p>④「研究の方法」</p> <p>各大学における高齢者歯科臨床実習・研修を受講する学生、研修医に対して、ADSD-J および Fraboni ageism scale（一般的なエイジズム尺度）について、実習受講前後で Microsoft Forms を用いたアンケート調査を行います。研究参加の同意は、アンケートに回答したことにより確認します。</p>
<p>⑤「研究対象者として選定された理由」</p> <p>対象者：九州歯科大学、九州大学および福岡歯科大学における高齢者歯科臨床実習を受講する歯学部学生、研修医です。</p> <p>選定方法：研究期間中に高齢者歯科臨床実習・研修を受講する方  除外基準：研究期間中に高齢者歯科臨床実習・研修を受講できなかった方</p>
<p>⑥「研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益」</p> <p>アンケートのみですので想定していません。</p>
<p>⑦「同意の自由及び同意の撤回」</p> <p>アンケートの参加は自由意志に基づき、回答後の撤回も可能です。</p>
<p>⑧「今回の研究に不参加の場合の不利益」</p> <p>不参加の場合でも、成績や評価について不利益は生じません。</p>
<p>⑨「研究に関する情報の公開」</p> <p>解析結果は、学会や論文により公開いたします。公開にあたっては、個人情報とは公開されません。</p>

<p>⑩「研究計画書・研究方法に関する資料の入手又は閲覧可否及び入手又は閲覧方法」</p> <p>連絡先：秋房 住郎 電話：093-285-3107、メールアドレス：r11akifusa(at)fa.kyu-dent.ac.jp ※ (at) は @ に置き換えてください。</p>
<p>⑪「個人情報の取扱い」</p> <p>個人と符合する割付番号の対応表を作成します。対応表は研究分担者、個人情報は研究代表者がそれぞれ施錠できる保管庫内で保管します。対応表は割付番号と氏名のみとし、その他の情報（年齢、性別およびアンケートの回答）は web 経由で研究代表者が一元的に管理します。Microsoft Forms の回答は研究代表者のみが閲覧できるようにしたうえで、アンケート情報をエクセルファイルに変換した後、パスワードにより管理します。</p>
<p>⑫「試料・情報の保管及び廃棄方法」</p> <p>収集したアンケートデータは論文公表後 5 年間保存する。電子媒体は専用の処理を行い、匿名性を担保した上で廃棄します。</p>
<p>⑬「研究機関の研究に係る利益相反及び個人の収益等、研究者等の研究に係る利益相反に係る利益相反に関する状況」</p> <p>本研究について、利益相反のある企業等はありません。</p>
<p>⑭「研究により得られた結果等の取扱い」</p> <p>求めに応じて、研究参加者ごとの結果を説明いたします。</p>
<p>⑮「研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応」</p> <p>連絡先：秋房 住郎 電話：093-285-3107、メールアドレス：r11akifusa(at)fa.kyu-dent.ac.jp ※ (at) は @ に置き換えてください。</p>
<p>⑯「外国にある者に対して試料・情報を提供する場合の情報」</p> <p>本研究では想定していません。</p>

<p>⑰「研究対象者等に経済的負担又は謝礼がある際の内容」</p> <p>本研究では想定していません。</p>
<p>⑱「通常の診療を超える医療行為を伴う研究の場合、他の治療法等に関する事項」</p> <p>本研究は侵襲を伴う研究でないため想定していません。</p>
<p>⑲「通常の診療を超える医療行為を伴う研究の場合、研究対象者への研究実施後における医療の提供に関する対応」</p> <p>本研究は通常の診療を超える医療行為を伴う研究でないため想定していません。</p>
<p>⑳「侵襲を伴う研究の場合には、当該研究によって生じた健康被害に対する補償の有無及びその内容」</p> <p>本研究は侵襲を伴う研究でないため想定していません。</p>
<p>㉑「研究対象者から取得された試料・情報について、研究対象者等から同意を受ける時点では特定されない将来の研究のために用いられる可能性又は他の研究機関に提供する可能性がある場合には、その旨、同意を受ける時点において想定される内容並びに実施される研究及び提供先となる研究機関に関する情報を研究対象者等が確認する方法」</p> <p>研究対象者から取得された試料・情報について、研究対象者等から同意を受ける時点では特定されない将来の研究のために用いられる可能性又は他の研究機関に提供する可能性はありません。</p>
<p>㉒「侵襲（軽微な侵襲を除く。）を伴う研究であって介入を行うもの場合には、研究対象者の秘密が保全されることを前提として、モニタリングに従事する者及び監査に従事する者並びに倫理審査委員会が、必要な範囲内において当該研究対象者に関する試料・情報を閲覧することがあります。」</p> <p>本研究は侵襲を伴う研究でないため想定していません。</p>